



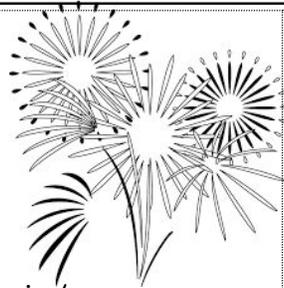
日本共産党 和歌山市会議員

森下さち子ニュース

2018年【7月号】

市議員団ホームページ <http://jcpwkm.sakura.ne.jp/> TEL(435)1113

森下さち子のブログ「さっちゃんね〜♪」 <http://sachikogo.exblog.jp/>



6月定例議会が終わりました。

6月12日に開会された定例市議会は、一般質問、常任委員会の審議を経て、6月27日最終日、市長から提案された議案20件のすべてを賛成多数、あるいは全会一致で可決しました。

日本共産党市議団は提案された議案のうち、2件に反対、18件には賛成しました。

安易な業務委託の調査

市の未利用地や施設の活用方法、今後の可能性について、500万円あるいは1500万円という金額をかけて調査するための予算が計上されました。どちらも国の「地方創生推進交付金」という補助事業を使って行い、半分は市が

負担することになります。

そもそも、市有地で使われていないスペースや施設をどうするかについては、市が考えるべきであり、丸投げのようなり方は認められないと指摘しました。

杭ノ瀬児童館等

複合施設の新設

児童館は本来、児童福祉施設であり、周辺地域も含めて希望する子どもたちは誰でも利用できるものです。

ところが、現在の運用は特定の地域に限られており、改善するようたびたび指摘してきました。複合化し新しい施設の建設を機に公平・公正な利用を求めました。

この原稿を書いている今、台風7号から派生した低気圧と梅雨前線により、大雨が降り続けています。市内のあちこちに警戒情報が出され、予断を許さない状況の中、被害が心配されます。どうかこの雨が早くやんで欲しいと祈るばかり。新たな台風も発生しています。どうぞ、最大限の警戒を。



こんにちは！松坂みち子です



赤旗新聞日曜版

まず、見るのが最終面の「ひと」です。例えば6月24日号の稲川淳二さん。怪談は好きではないけれど、人となり伝わってきて身近に感じます。次は「まちがい探し」。最後の一つがなかなか見つかからず、答を見ても。同じところばかり見てしまい、他に目が行かないのでしょう。文字通り、細かい目配りが必要です。真ん中の見開きはそのときに知っておきたいこと。「沖縄戦の真実」などは70年間の沈黙を破って語られた真実。胸に刻み込みました。1面はもちろん、知らない損する記事まで、骨以外はすべて食べられるアンコウのように全部「おいしい」新聞だなあと自画自賛しています。

県議予定候補 松坂みち子

投票に行きましょう！ 7月22日は市長選挙の告示日 投票日は29日



市長選挙が始まります。

私たちの住むまちは今、どうなっているのか、この先どういう方向へ進もうとしているのかを考える機会でもあります。

子育てへの思い、学費、就職、介護保険料やサービスのあり方、などなどたくさんの要求があるのではないのでしょうか。

期日前投票の箇所も増えてつあります。ぜひ、投票に行きましょう。



6月定例議会報告 ◆学校給食について

学校給食は成長期の子どもたちにとって、大切な役割を担っており、全国で無償化に踏み出す自治体が増え続けています。少子化対策、貧困対策、食育と様々な理由で実施されていますが、現物給付で必ず子どもたちに行き届く、という意味でも、優れた制度であり、和歌山市でも実施を求めました。また、和歌山市の小学校の給食施設にはエアコンが設置されていないところがほとんどであることから、調理員の健康上からも年次計画を立ててエアコン設置を求めました。

教育長は、給食施設へのエアコン設置は特殊な構造で、費用も期間もかかるため、新設、増改築の時にやっている年次計画についての考えは明らかにしませんでした。

市長は無償化の考えは、今は持っていないこと、エアコン設置は当面できる手立てを考えると述べるにとどまりました。

「子育て環境日本一をめざす」と言うなら、子どもたちのための施策の充実を図るべきです。今後も粘り強く取り上げていきたいと思っています。



森下さち子 一般質問 ◆IRについて

5月8日、県がIRに関わる基本計画を発表しました。来場者数、経済波及効果、雇用創出効果、県への納金や入場料収入などをうたい、知事曰く「IRはとっておきのメニューだ」とか。しかも、県独自の依存症対策をするので、それに応じる業者なら日本人の入場も認めると方針転換しました。私は市長に知事の方針転換をどのように受け止めているかを質すとともに、IRはギャンブル依存症を増加させるだけでなく、人を不幸にすることで利益を生むビジネスモデルであることを指摘し、考えを改めて欲しいと求めました。そして知事へも進言するよう求めました。

市長は、入場者は外国人に限ることが最善という考えに変わりはない。私と知事の考えには差が生まれることになった。今後、誘致主体は県になり、市は立地市として同意を求められる立場となる。同意、不同意の判断は首長だけで決めるべきではなく議会の判断も仰ぐと述べました。

私は市民の安心・安全に責任を負うべき市長として、危険から市民を守ることも必要であり、誘致の姿勢でなく立ち止まるべきだと求めました。



7月の無料法律相談

7月18日(水) 13:30~
7月24日(火) 18:00~

*事前の予約をお願いします
TEL 435-1113 (市議団控室 森下まで)
*井辺の森下さち子事務所にて。
(井辺 144-77 TEL 475-8122)

東部後援会「夏の学習会」

「県政のはなし」
8月5日(日) 13:30~
雑賀光夫・日本共産党和歌山県議団長

民商会館(鳴神 760)にて
私、森下さち子も6月議会について報告します。
ぜひ、お越しください。



7月1日、日高川町で開催された母親大会に参加しました。午前中は「今、子どもたちは、学校は？」というテーマの分科会へ。

現役教師や保護者、孫が心配というおばあちゃんとして、など、それぞれの問題意識を出し合いました。学力テストやクラブ活動、高校受験など、多くの課題

を前に子どもたちも先生も大変さを抱えているということが伝わってきました。それぞれの年齢に応じて、身につけるべき力をつけられていくか、どの子どもも生き生きと育ち合うために私たちは何をすべきか、お互いに情報を共有し手を取り合っていくことを確認し合いました。

